

米原市道路網整備計画2024

 米原市



米原市道路網整備計画 2024について



<過去の策定リーフレット>

本市のまちづくりの目標と方向性を示す総合計画では「ともにつながり・ともに創る 住みよさ実感 米原市」を将来像（米原市第2次総合計画）に掲げ、その実現に向け各行政サービス分野において個別計画を策定しています。

道路整備の個別計画となる「米原市道路網整備計画」は、市内の魅力あふれる地域をつなぎ「快適で安全な暮らしを支える道路網の整備」を基本理念と定めています。

本計画は5年に1回の見直しを図っており、今回「事業の進捗の確認・他機関の計画変更に伴う整合・道路をとりまく情勢変化への対応」等を見直し令和6年から令和15年の10年間の計画としました。

米原市道路網整備計画 2024

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
米原市道路網整備計画(2024)	短期計画					中期計画				

策定体制について

「米原市道路網整備計画」を見直すに当たり、学識経験者や関係機関、市民の代表となる各種団体や自治会の代表の方で構成する「地域ワーキング」の場で、道路整備について御意見をいただき計画を策定しました。

〈令和5年10月19日〉
議題：評価方法（案）について



第1回地域ワーキング

災害時、確実に道路が通れるよう期待します。[防災]
新興住宅地も増えてきてます。歩道を広げていただきたい。[生活]

〈令和6年2月16日〉
議題：道路網整備計画2024（案）について



第2回地域ワーキング

整備後、交差点が増え走行安全性が低下しないようお願いします。[安全]
地震等で孤立する集落がないよう今後検討いただきたい。[防災]

ご意見

ご意見

進捗状況の整理

評価方法の検討

評価対象路線の抽出

路線の評価

事業スタミナ（投資可能額）の検証

整備時期の検討

見直し案作成

計画とりまとめ

道路網整備計画
2024の策定

図：道路網整備計画 2024 の計画策定の流れ

2019年計画策定～2023年までの主な道路整備状況

市道 顔戸能登瀬線（顔戸地先）

歩道の拡幅を行いました。
歩行者および通学路の安全を
確保することができました。



市道 板戸市場線（朝日地先）

車道2車線の整備と歩道の拡
幅を行いました。
車両のスムーズな通行と歩行
者および通学路の安全を確保
することができました。



市道 藤川線（藤川地先）

狭小区間の2車線化を行いま
した。
地域内の南北移動に利用され
る道路ネットワークを構築（強
化）することができました。



道路施設（付属物等）の維持管理

道路網整備計画内で定めた道路整備以外にも、利用者の安全確保を図るため、市内を通る路線に対し今後も計画的な維持管理につとめます。

以下に示す4つの道路施設を中心に、損傷が小さいときから計画的な修繕（予防保全型）を行い、「構造物の長寿命化」や「コスト縮減および平準化」を図ります。

橋りょう



橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの予防保全型の補修を行います。

舗装



路面性状調査の結果に基づき、舗装の計画的な補修を行います。

道路構造物



道路構造物（のり面、土工構造物、標識、照明等）の点検を行い、適切な管理につとめます。

通学路



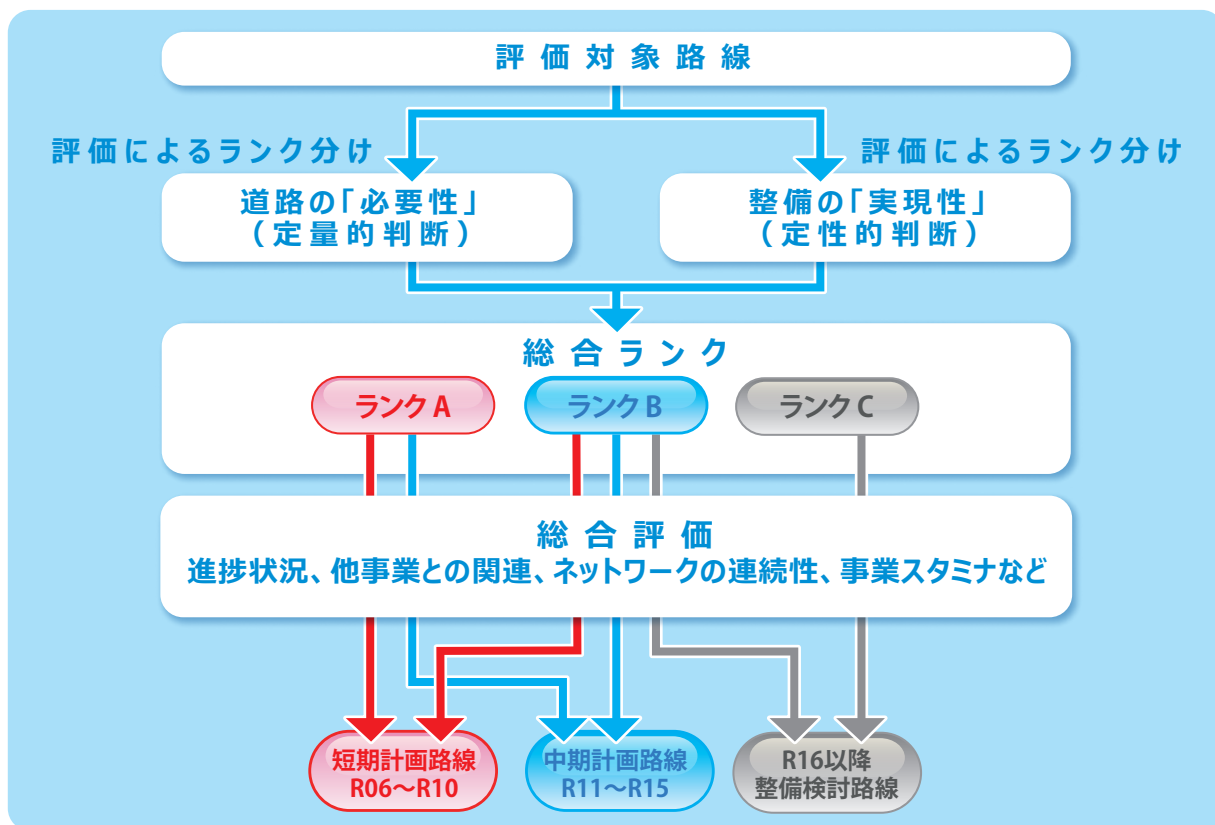
通学路安全点検の結果に基づき、計画的に交通安全対策を行います。

米原市道路網整備計画 2024 評価の流れ

道路網整備計画2024掲載事業の整備優先順位は、客観的な評価で判定する道路の「必要性」と整備の「実現性」、2つの指標を軸に評価付けを行っています。

また、他事業との関連性やネットワークの連続性、事業スタミナなどの総合的な判断も念頭におき、以下のフローに基づいて優先順位を設定しました。

計画期間10年のうち、整備優先順位の目安となる「短期計画路線」は整備着手時期を概ね5年以内、「中期計画路線」は整備着手時期を概ね10年以内としています。



道路の「必要性」の評価項目と整備の「実現性」の評価項目は以下に示す項目内容で評価しています。

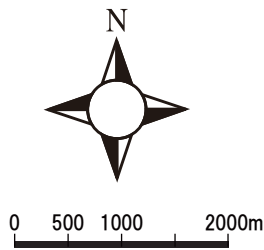
必要性の評価項目(20項目)

1. 広域交流を促進する道路づくり	11. 安全に歩くことができる道路づくり
2. 自動車移動の時間短縮に寄与する道路づくり	12. 安全に通学できる通学路づくり
3. 地域間交流を促進する道路づくり	13. 医療機関へのアクセスを支える道路づくり
4. 身近な福祉施設へのアクセスを支える道路づくり	14. 風水害などに強い道路づくり
5. 公共交通機関の利用を支援する道路づくり	15. 地震等災害発生時に避難、救援、救急活動を支える道路づくり
6. 物流拠点へのアクセス性向上に資する道路づくり	16. 上位計画・他事業における位置づけ
7. 農林工業等の産業活動の振興を図る道路づくり	17. 道路種別(幹線、補助幹線道路)
8. 観光産業振興を図る道路づくり	18. 進捗状況(効率的な事業推進)
9. 鉄道や道路と立体交差する	19. 沿道地域の大気汚染等を改善する道路づくり
10. 安全に走行できる道路づくり	20. 良好な景観づくりに寄与する道路づくり

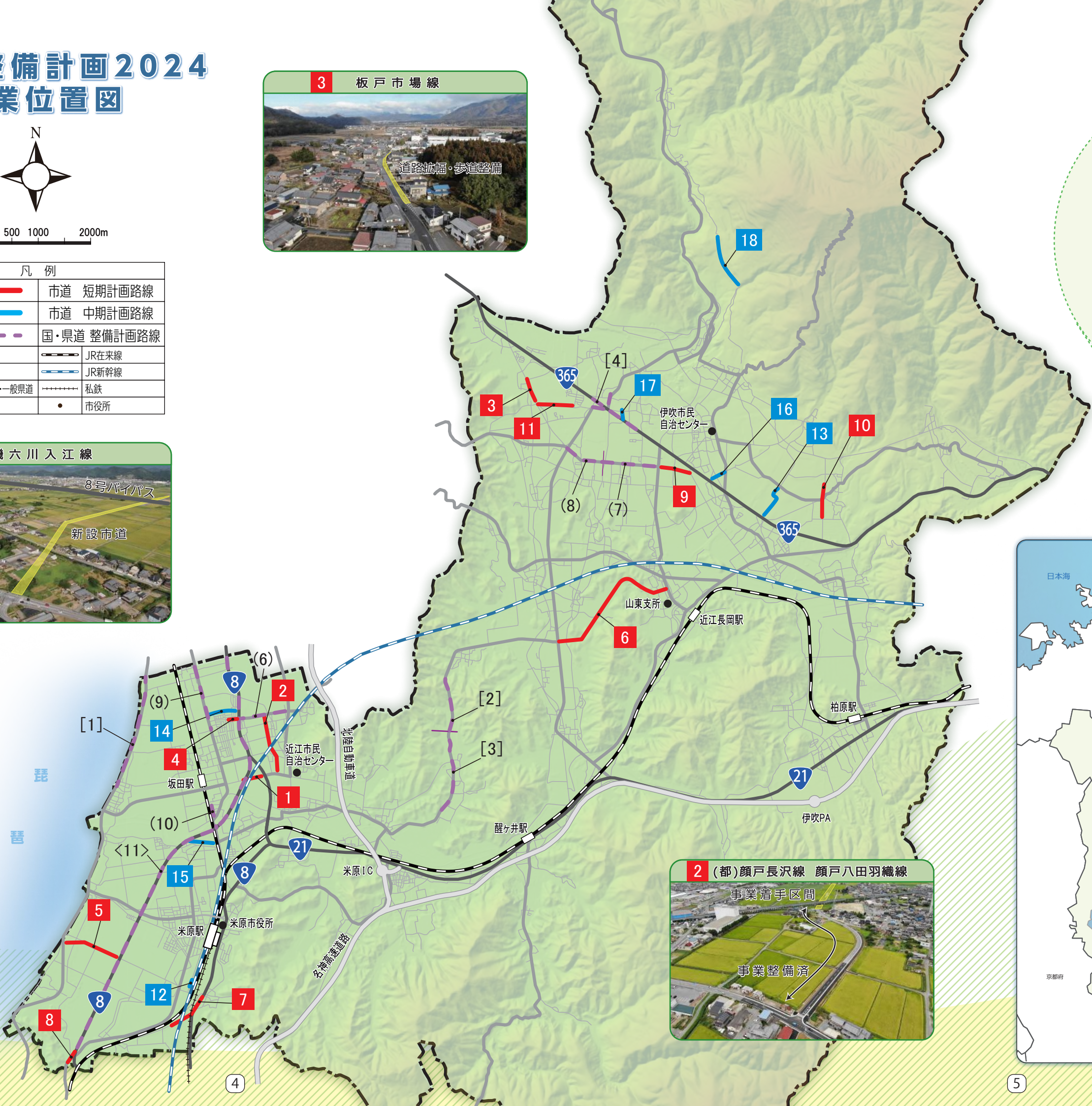
実現性の評価項目(4項目)

1. 政策的判断	3. 整備に対する特定財源の有無(財源)
2. 地元・用地協力度(事業熟度)	4. 整備する上での難易度(施工性)

道路網整備計画2024 事業位置図



凡 例	
—	市道 短期計画路線
—	市道 中期計画路線
---	国・県道 整備計画路線
	高速道路
	国道
	主要地方道・一般県道
	主な市道
	JR在来線
	JR新幹線
	私鉄
	市役所



【市道 整備計画】各路線の事業計画・主な事業内容

番号	路線名	施工箇所	継続	短期計画		中期計画 着手	事業内容	事業目的
				着手	完了			
1	顔戸飯線	顔戸	◎		●		交差点改良	渋滞解消
2	(都) [※] 顔戸長沢線 顔戸八田羽織線	顔戸・高溝	◎		●		バイパス整備	通学路対策
3	板戸市場線	烏脇	◎		●		道路拡幅	通学路対策
4	(都) [※] 碓高溝顔戸線	高溝	◎				道路改良	坂田駅周辺ネットワーク構築
5	磯六川入江線	入江	◎				バイパス整備	幹線道路整備
6	(仮称)長岡志賀谷線	長岡・志賀谷	◎				バイパス整備	幹線道路整備
7	宮田米原東口線	梅ヶ原		●			バイパス整備	幹線道路整備
8	入江明神善積線(磯公園)	入江		●			交差点改良	走行性向上
9	(仮称)天満春照線	天満・春照		●			バイパス整備	幹線道路整備・防災機能強化
10	大清水弥高春照線	大清水		●			バイパス整備	幹線道路整備
11	観音寺野一色線	野一色		●			道路拡幅	利便性向上
12	中多良梅ヶ原線	梅ヶ原	◎			●	局部改良	走行性向上
13	杉澤弥高線	杉澤・大清水	◎			●	道路拡幅	幹線道路整備
14	(都) [※] 碓高溝狐塚線	高溝・宇賀野				●	バイパス整備	幹線道路整備
15	入江上多良線	上多良				●	道路拡幅	利便性向上
16	野頭高番線	高番				●	道路拡幅	利便性向上
17	(仮称)間田区内線	間田				●	道路新設	利便性向上
18	(仮称)伊吹小泉線	大久保・小泉				●	バイパス整備	防災機能強化

※(都)：都市計画道路の略称

【国・県道 整備計画】各路線の事業計画・主な事業内容

番号	路線名<路線番号>	施工箇所	事業内容
[1]	ビワイチ	－	自転車通行空間整備【上級コース】
[2]	大鹿寺倉線<246>	山室	道路拡幅（勾配修正）
[3]	大鹿寺倉線<246>	多和田	道路拡幅
[4]	国道365号	野一色	交差点改良
[5]	山東本巣線<40>	甲津原	バイパス整備
(6)	東上坂近江線<243>	高溝	歩道整備：自転車歩行者道設置
(7)	間田長浜線<509>	本市場	歩道整備：自転車歩行者道設置
(8)	間田長浜線<509>	市場	歩道整備：自転車歩行者道設置
(9)	長浜近江線<556>	宇賀野	歩道整備：自転車歩行者道設置
(10)	朝妻筑摩近江線<234>	天野川橋	歩道整備：自転車歩行者道設置
(11)	国道8号 米原バイパス工区	－	バイパス整備

＜歩行者・自動車・自転車＞それぞれが安心・安全に利用できる道路空間の実現手段として、道路整備は必要不可欠な事業になります。

米原市道路網整備計画2024に基づき、今後も利用者の皆様に必要となる道路整備や道路の維持管理を進めます。今後とも市民皆さまのご協力をお願いいたします。



計画や道路整備について
のお問合せ先

まち整備部 建設課

〒521-8501 米原市米原1016番地

電話 (0749)-53-5143 FAX (0749)-53-5138

<https://www.city.maibara.lg.jp>

三島池自然公園から伊吹山を望む



長岡のゲンジボタル



伊吹せんろみちサイクリング



米原駅と市役所



醒井 地蔵川の梅花藻

